

Bluetooth インターフェイス
モバイルバーコードスキャナ
BW-130BT2
Bluetooth 接続手順書
Version 0001.0016 以上用

AIMEX Corporation

BW-130BT2:20130312

はじめに

本書は、BW-130BT2 とパソコン、スマートフォン、タブレットなどと Bluetooth 接続を行うための説明書です。本書では、USB Bluetooth アダプタを使用したパソコン、Bluetooth 無線搭載スマートフォン、Bluetooth 搭載 iPhone を接続先機器として説明をします。その他の機器につきましては、機器付属のマニュアル等をご参照ください。

使用構成：

1. BW-130BT2 Bluetooth モバイルスキャナ
2. BSHSBD05BK 株式会社バッファローコクヨサプライ社製 Motorola 社製 Bluetooth チップ
Bluetooth 3.0 + EDR Class 1 802.11 Co-existence 対応
※コンピュータは Windows 7 32bit OS および Windows 8 32bit OS を使用します。
3. ISW13F ARROWS Z au 携帯電話 富士通社製スマートフォン Android 4.0
Bluetooth 4.0 + EDR
4. iPod touch アップル社製 (第4世代)
Bluetooth 2.1 + EDR
5. RS-Keyboard Ver3 Windows OS 用キーボードインターフェイス ドライバソフト
6. RS-Keyboard AR Android OS 用キーボードインターフェイス ドライバソフト

※各機種の詳細につきましては、機器付属のマニュアルでご確認ください。

※本書は、各機器との Bluetooth 通信を保証するものではありません。ご使用環境によっては正常に Bluetooth 通信ができないこともあります。

BW-130BT2 が未接続状態ですと、設定コードをスキャンすることができません。
その場合には、本体から乾電池を外して、トリガボタンを押した状態で乾電池を挿入することで設定開始状態にします。再起動すると設定したモードが有効になります。

目 次

1. コンピュータとの接続方法	1
1-1. Windows 7 コンピュータとの SPP 接続	1
1-1-1. Bluetooth 設定	1
1-1-2. RS-Keyboard Ver3 の起動	2
1-1-3. ペアリングの開始	2
1-2. Windows 7 コンピュータとの HID 接続	4
1-2-1. Bluetooth 設定	4
1-2-2. ペアリングの待ち状態	4
1-2-3. ペアリング検出	5
1-3. Windows 8 コンピュータとの SPP 接続	8
1-3-1. Bluetooth 設定	8
1-3-2. RS-Keyboard Ver3 の起動	8
1-3-3. ペアリングの開始	9
1-4. Windows 8 コンピュータとの HID 接続	11
1-4-1. Bluetooth 設定	11
1-4-2. ペアリングの待ち状態	11
1-4-3. ペアリング検出	12
2. Android 端末との接続方法	15
2-1. Android 端末との SPP 接続	15
2-1-1. RS-Keyboard AR のインストール	15
2-1-2. RS-Keyboard AR の選択	16
2-1-3. 入力方法の切替	16
2-1-4. Bluetooth 設定	17
2-1-5. ペアリングの開始	18
2-2. Android 端末との HID 接続	20
2-2-1. Bluetooth 設定	20
2-2-2. ペアリングの開始	21
3. iOS 端末との接続方法	23
3-1-1. Bluetooth 設定	23
3-1-2. ペアリングの開始	23
4. 受信ユニット BTR-UK3 との HID 接続方法	26
4-1-1. BTR-UK3 モード設定	26
4-1-2. Bluetooth 設定	26
4-1-3. ペアリングの開始	27
5. 接続先 Bluetooth アドレス解除方法	28
5-1. 登録 Bluetooth アドレスのクリア	28
6. 工場出荷状態	28

1. コンピュータとの接続方法

市販のUSB Bluetooth アダプタまたは内蔵Bluetooth ユニットの搭載したコンピュータとの接続手順を説明します。

BW-130BT2 は、コンピュータとの Bluetooth 接続方法（プロファイル）が2通りあります。

- ・ SPP (Serial Port Profile) シリアル通信入力
- ・ HID (Human Interface Device Profile) キーボード入力

1-1. Windows 7 コンピュータとの SPP 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定しています。

BW-130BT2 を Bluetooth SPP Master モードに設定



USB Bluetooth アダプタ同梱 CD を使用してドライバのインストールを事前に行ってください。
インジケータ内（図-1）に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。



図-1

1-1-1. Bluetooth 設定

- 図-1 の Bluetooth アイコンを右クリックして表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- 表示された Bluetooth 設定画面（図-2）の「他の Bluetooth デバイスにこのコンピュータの表示を許可する。」にチェックを入れてください。
- 左側アイコン群より青枠の RS232C (DB9) コネクタを選択します。

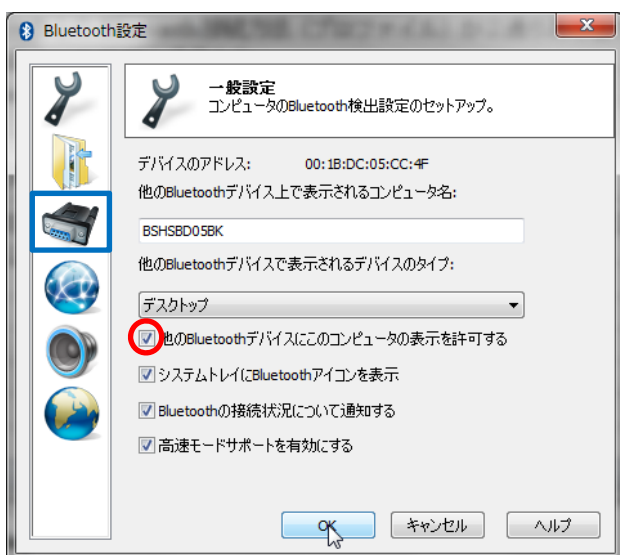


図-2

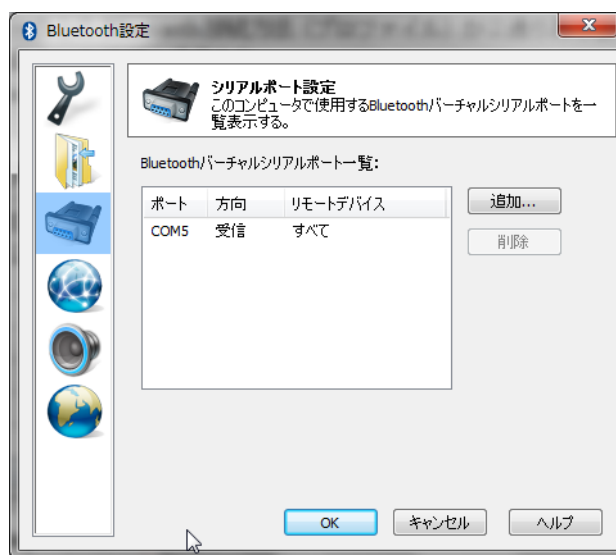


図-3

- Bluetooth バーチャルシリアルポート一覧にポート番号が表示されない場合には、「追加...」ボタンをクリックして図-3のようにポート番号を表示させてください。
※コンピュータの環境によってポート番号（図-3では **COM5**：5番）は異なります。
- 「OK」ボタンをクリックして Bluetooth 設定画面を閉じます。

1-1-2. RS-Keyboard Ver3 の起動

- a) 「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「AIMEX」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」を選択して起動します。
- b) インジケータ内 (図-4) に赤丸印の RS-Keyboard アイコンの存在を確認してください。
- c) 図-4 の RS-Keyboard アイコンを右クリックして「RS-Keyboard 設定」画面を表示します。



図-4

d) パラメータ設定

ポート番号：図-3 で表示された番号
 ボーレート：115200bps
 データビット：8 ビット
 ストップビット：1 ビット
 パリティ：Even (偶数)
 フロー制御：なし
 伝送手順：ACK/NAK 手順 STX/ETX

終端キーに Enter を初期値で設定

終端キーを変更する場合には「機能設定」タブを選択して行ってください。

確定の「OK」ボタンをクリックします。

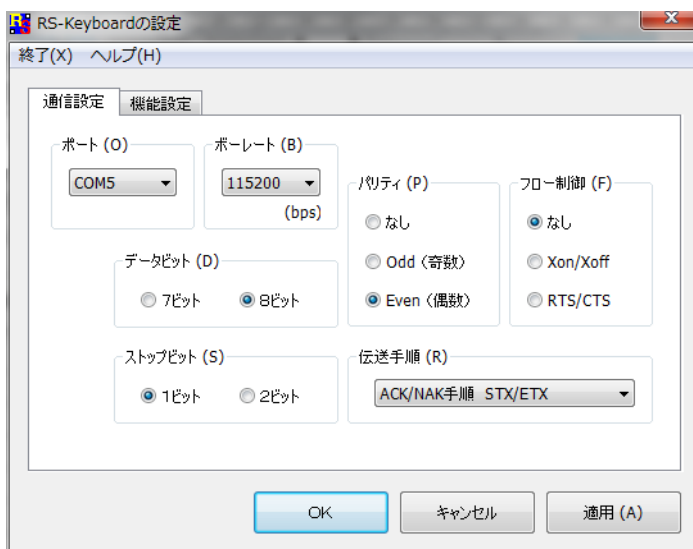


図-5

1-1-3. ペアリングの開始



図-6

- a) Power ボタンを 5 秒以上長押し (図-6) して上下 LED が緑色に点灯します。
 ※BW-130BT2 より Bluetooth デバイスを検索します。
- b) ペアリング可能な機器に PIN コード入力画面 (図-7) を表示します。
- c) PIN コード「1 2 3 4」(初期値) を入力します。
- d) 「OK」ボタンをクリックしてペアリングを実行します。
- e) ペアリングが成功すると下側 LED (小さい LED 窓) がゆっくりの緑色点滅に変わります。
 ※ペアリングに失敗しますとビープ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。



図-7

以上の操作で BW-130BT2 とコンピュータの SPP 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ (BW-130BT2 AIMEX) が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し (約5秒間) しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続と RS-Keyboard Ver3 を起動してください。

【 注 意 】

SPP 通信は、シリアルポートにデータを受信しますので RS-Keyboard Ver3 を起動しませんとメモ帳などのテキストへ入力できません。

シリアル入力できるアプリケーションをご使用の場合には、RS-Keyboard Ver3 は起動しないでください。シリアルポートの取り合いになりますので正常に動作できなくなります。

1-2. Windows 7 コンピュータとのHID 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

BW-130BT2 を Bluetooth 標準 HID モードに設定

- ① 
- ② 
- ③ 

USB Bluetooth アダプタ同梱 CD を使用してドライバのインストール事前に行ってください。インジケータ内 (図-8) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。

1-2-1. Bluetooth 設定

- 図-8 の Bluetooth アイコンを 右クリック して表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- 表示された Bluetooth 設定画面 (図-9) の「他の Bluetooth デバイスにこのコンピュータの表示を許可する。」にチェックを入れてください。



図-8

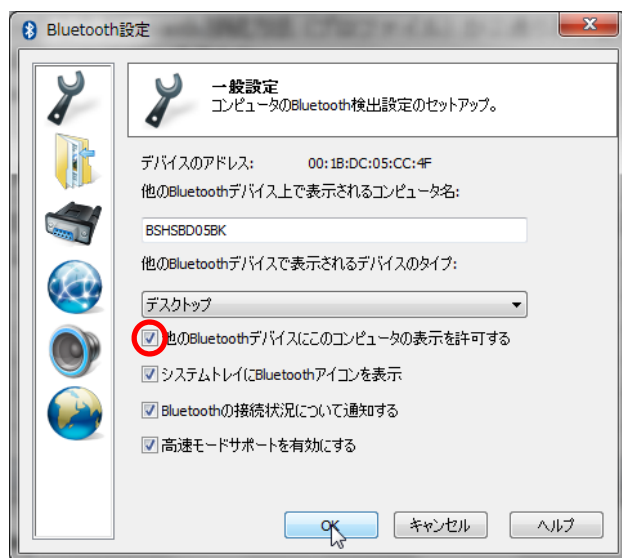


図-9

1-2-2. ペアリングの待ち状態



図-10

- Power ボタンを 5 秒以上長押し (図-10) して上下 LED が緑色に点灯します。
※コンピュータより BW-130BT2 を検索します。

1-2-3. ペアリング検出

図-8の Bluetooth アイコンを**右クリック**して表示されるメニューより「My Bluetooth を開く」を選択してください。

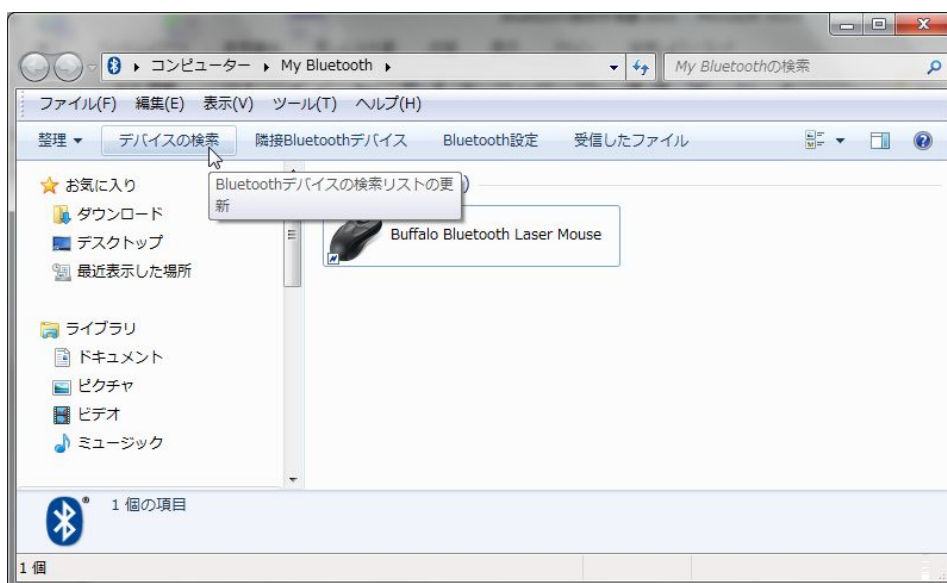


図-1 1

a) メニューバーの「デバイスの検索」(図-1 1) をクリックします。

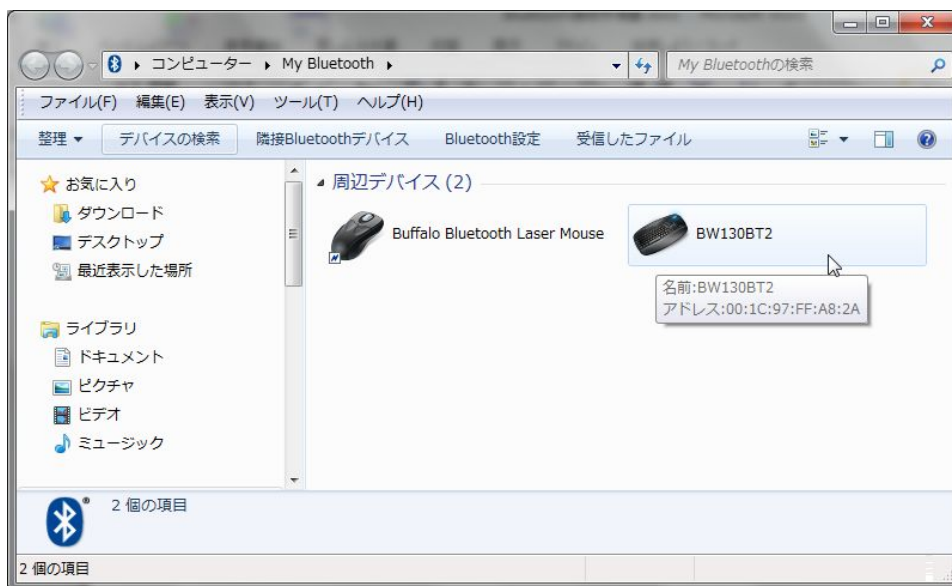


図-1 2

BW-130BT2

e) ペアリング完了

ペアリング確認のブザー音が流れて下側LED（小さいLED窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。



図-15

以上の操作で BW-130BT2 とコンピュータの HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続を確認してください。

1-3. Windows 8 コンピュータとの SPP 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定しています。
 BW-130BT2 を Bluetooth SPP Master モードに設定



Bluetooth デバイスは、Windows 8 標準ドライバを使用してください。

インジケータ内 (図-16) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。

1-3-1. Bluetooth 設定

- 図-16 の Bluetooth アイコンを右クリックして表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- 表示された Bluetooth 設定画面 (図-17) の「Bluetooth デバイスによる、このコンピュータの検出を許可する (F)」のチェックを確認してください。
- 「COM ポート」タブを選択します。



図-16

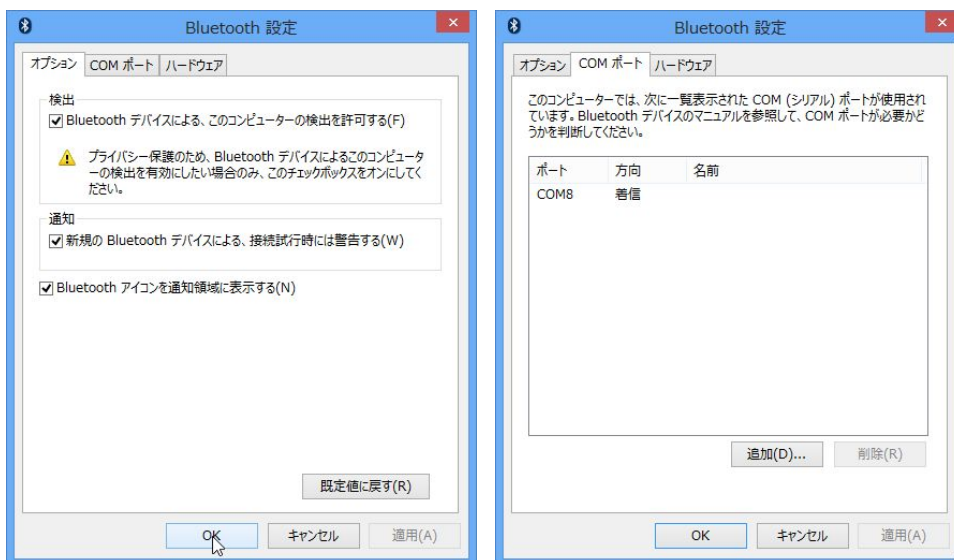


図-17

図-18

- ポート一覧にポート番号が表示されない場合には、「追加 (D) ...」ボタンをクリックして図-18のようにポート番号を追加してください。
 ※コンピュータの環境によってポート番号 (図-18では **COM8** : 8番) は異なります。
- 「OK」ボタンをクリックして Bluetooth 設定画面を閉じます。

1-3-2. RS-Keyboard Ver3 の起動

- 「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「AIMEX」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」を選択して起動します。
- インジケータ内 (図-19) に赤丸印の RS-Keyboard アイコンの存在を確認してください。
- 図-19 の RS-Keyboard アイコンを右クリックして「RS-Keyboard 設定」画面を表示します。



図-19

i) パラメータ設定

- ポート番号：図-18で表示された番号
- ボーレート：115200bps
- データビット：8ビット
- ストップビット：1ビット
- パリティ：Even（偶数）
- フロー制御：なし
- 伝送手順：ACK/NAK 手順 STX/ETX

終端キーにEnterを初期値で設定

終端キーを変更する場合には「機能設定」タブを選択して行ってください。

確定の「OK」ボタンをクリックします。

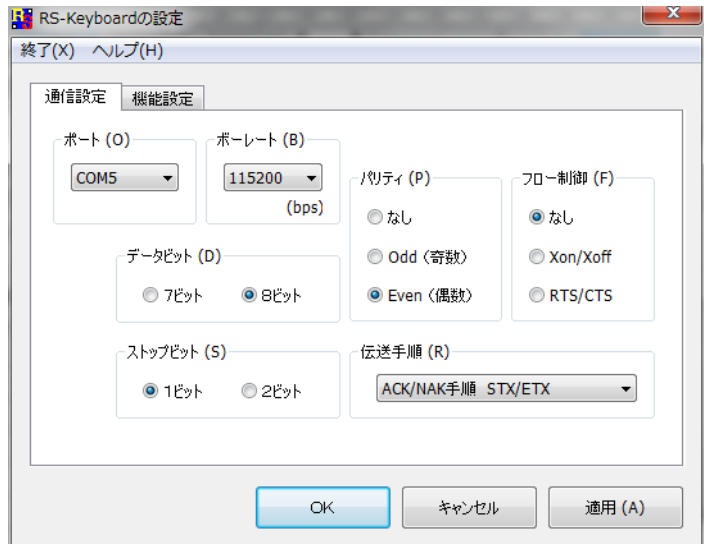


図-20

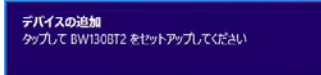
1-3-3. ペアリングの開始



図-21

a) Power ボタンを5秒以上長押し(図-21)して上下LEDが緑色に点灯します。
※BW-130BT2よりBluetoothデバイスを検索します。

b) デバイスの追加



または、Bluetooth アイコンをタップして「デバイスの接続を許可 (L)」を選択します。



c) ペアリング可能な機器にPINコード入力画面(図-22)を表示します。

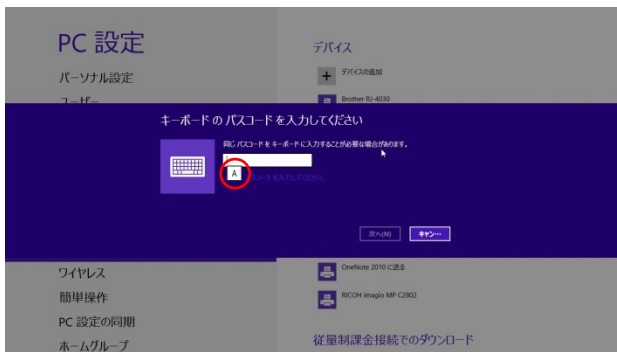



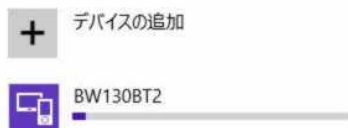
図-22

赤丸部が  の場合には、全角(日本語)入力となっていますので半角に設定してください。

d) パスコード「1234」(初期値)を入力します。

e) 「次へ (N)」ボタンをクリックしてペアリングを実行します。

デバイス



紫色バーが右端まで表示してデバイスの追加完了バー表示が消える。

デバイス



※バー表示が完了する前にBW-130BT2の電源がOFFになったらトリガボタンを押して起動する。

BW-130BT2

- f) ペアリングが成功すると下側LED（小さいLED窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。
※ペアリングに失敗しますとビープ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。

以上の操作でBW-130BT2とコンピュータのSPP接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続と RS-Keyboard Ver3 を起動してください。

【 注 意 】

SPP 通信は、シリアルポートにデータを受信しますので RS-Keyboard Ver3 を起動させないとメモ帳などのテキストへ入力できません。

シリアル入力できるアプリケーションをご使用の場合には、RS-Keyboard Ver3 は起動しないでください。シリアルポートの取り合いになりますので正常に動作できなくなります。

1-4. Windows 8 コンピュータとのHID 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

BW-130BT2 を Bluetooth 標準 HID モードに設定

- ① 
- ② 
- ③ 

Bluetooth デバイスは、Windows 8 標準ドライバを使用してください。

インジケータ内 (図-23) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。

1-4-1. Bluetooth 設定

- c) 図-23 の Bluetooth アイコンを **右クリック** して表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- d) 表示された Bluetooth 設定画面 (図-24) の「Bluetooth デバイスによる、このコンピュータの検出を許可する (F)」のチェックを確認してください。



図-23

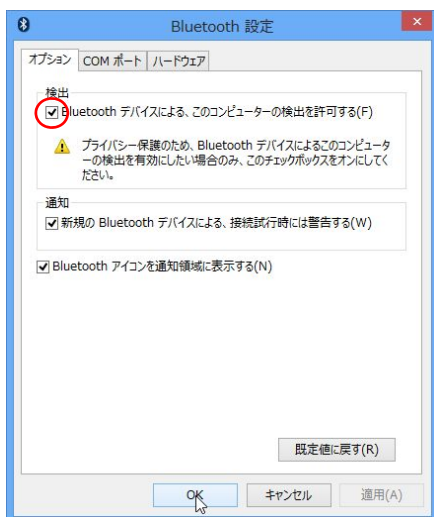


図-24



1-4-2. ペアリングの待ち状態



図-25

- a) Power ボタンを 5 秒以上長押し (図-25) して上下 LED が緑色に点灯します。
※コンピュータより BW-130BT2 を検索します。

1-4-3. ペアリング検出

図-23のBluetoothアイコンを**右クリック**して表示されるメニューより「Bluetooth デバイスの追加(A)」を選択してください。



図-26

a) メニューバーのデバイスの選択で検出した「BW-130BT2」アイコンをクリックして接続します。



図-27

b) BW-130BT2 でパスコードを入力します。

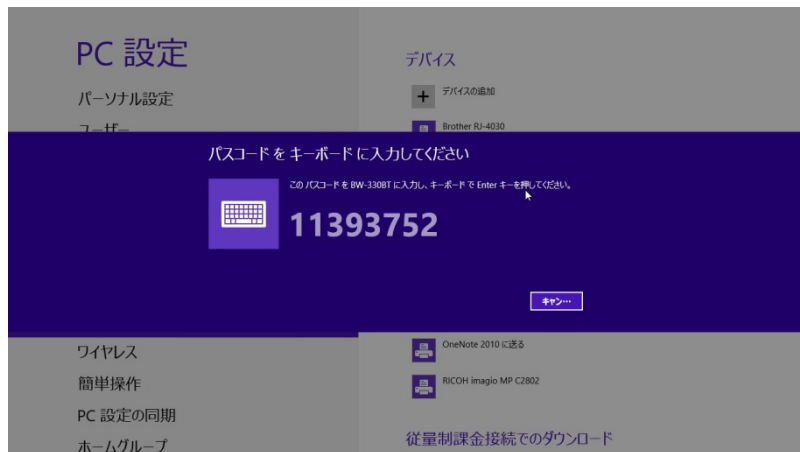
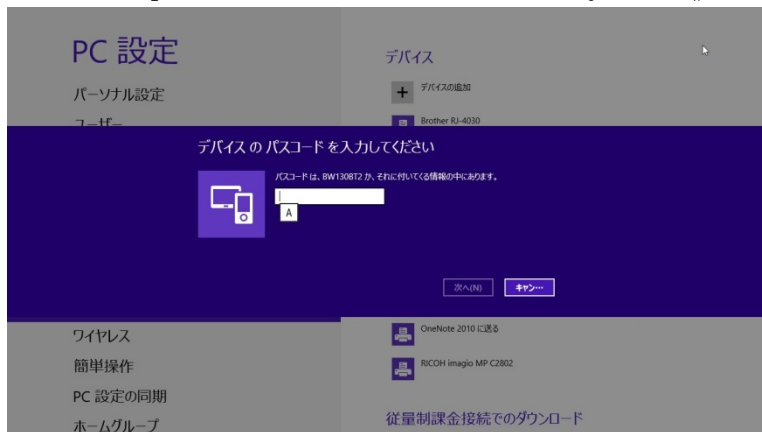


図-28

※Windows 8 コンピュータ (タブレット) によっては、パスコードが表示されない (下記図) 場合には、「1 2 3 4」をキーボードより入力してください。この値を BW-130BT2 で入力します。



※キー入力は、半角設定で行ってください。

BW-130BT2 でパスキーを下記の設定コードを利用して入力します。

図-28 の場合には、「1」「1」「3」「9」「3」「7」「5」「2」「OK」の順でスキャンします。



BW-130BT2

e) ペアリング完了

ペアリング確認のブザー音が流れて下側 LED（小さい LED 窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。

※Windows 8 OS が新しいデバイスの認識が終了する前に BW-130BT2 の電源が OFF になりましたら認識が終了するまで、BW-130BT2 のトリガボタンを押して電源 ON 状態を必ず保ってください。

以上の操作で BW-130BT2 とコンピュータの HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続を確認してください。

2. Android 端末との接続方法

内蔵 Bluetooth ユニットの搭載した Android 端末（以下端末と略す）との接続手順を説明します。

BW-130BT2 は、コンピュータとの Bluetooth 接続方法（プロファイル）が2通りあります。

- ・ SPP（Serial Port Profile） シリアル通信入力
- ・ HID（Human Interface Device Profile） キーボード入力

2-1. Android 端末との SPP 接続

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定しています。

BW-130BT2 を Bluetooth SPP Master モードに設定



2-1-1. RS-Keyboard AR のインストール

RS-Keyboard AR は、製品版（有償）と評価版（無償）の2種類があります。

RS-Keyboard AR は、Google Play よりダウンロードできます。

「RS-KeyboardAR」で検索してください。（完全一致で検索されます）



図-29

RS-Keyboard AR は BW-130BT2 および BW-130BT を端末と接続するための弊社 推奨ドライバソフトです。

ダウンロードが終了すると RS-Keyboard AR は自動でインストールされます。

端末の「設定」⇒「言語と入力設定」を選択して「RS-KeyboardAR」の項目を確認ください。

※ RS-Keyboard AR は、有限会社デジャブ様で BW-130BT 用に開発したドライバソフトです。

2-1-2. RS-Keyboard AR の選択

端末の「設定」⇒「言語と入力設定」を選択して「RS-KeyboardAR」にチェックを入れる。(図-31)

図-30の注意画面が表示されますので「OK」を選択してください。

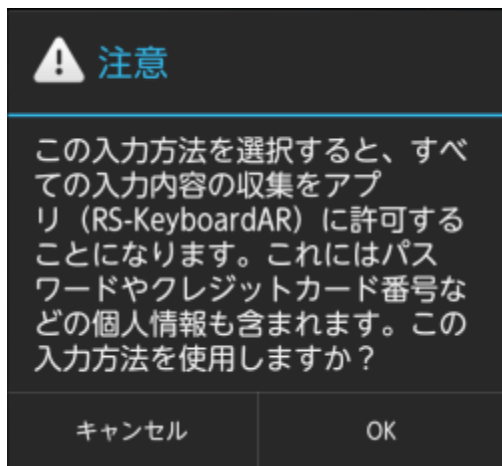


図-30



図-31

2-1-3. 入力方法の切替

「デフォルト」をタップして「入力方法の選択」から「RS-Keyboard AR」を選択します。

※「デフォルト」の選択ができない機種では、テキスト入力画面でカーソル位置を長タップして「入力方法の選択」画面を表示してください。



図-32

2-1-4. Bluetooth 設定

端末は、初期値で Bluetooth OFF の状態です。

- a) 端末の「設定」⇒「Bluetooth」の「OFF」をスライドして「ON」に変更します。
- b) 「Bluetooth」をタップして詳細画面（図-35）を表示します。



図-33

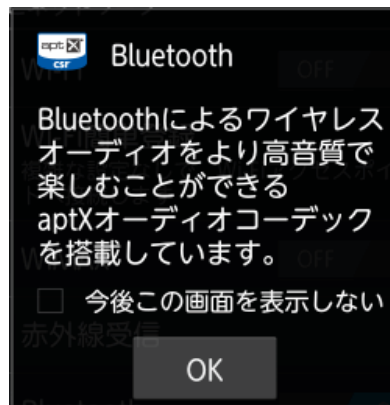


図-34

- c) 図-34の画面が表示されますので「OK」を選択します。

- d) 「ISW13F」をタップして BW-330BT からのネゴシエーションを受信できるようにします。

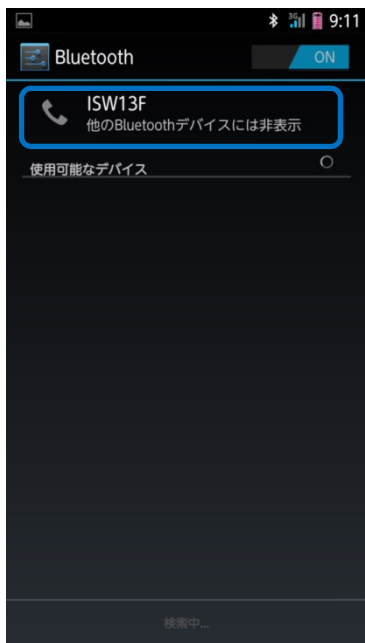


図-35



図-36

2-1-5. ペアリングの開始

a) Power ボタンを5秒以上長押し（図-37）して上下LEDが緑色に点灯します。

※BW-130BT2 より Bluetooth デバイスを検索します。



図-37

b) ペアリング可能な機器に PIN コード入力画面（図-38）を表示します。

c) PIN コード「1 2 3 4」（初期値）を入力します。

d) 「OK」 ボタンをクリックしてペアリングを実行します。

e) ペアリングが成功すると下側LED（小さいLED窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。

※ペアリングに失敗しますとビープ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。

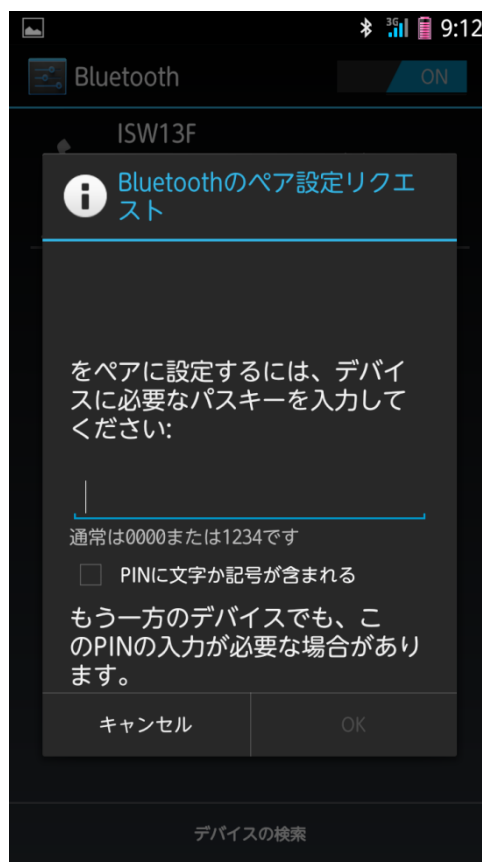


図-38

以上の操作で BW-130BT2 と Android 端末の SPP 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ (BW-130BT2 AIMEX) が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し (約5秒間) しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

端末を起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続と RS-Keyboard AR を起動してください。

【 注 意 】

SPP 通信は、シリアルポートにデータを受信しますので RS-Keyboard AR を起動しませんでしたとメモ帳などのテキストへ入力できません。

シリアル入力できるアプリケーションをご使用の場合には、RS-Keyboard AR を選択しないでください。シリアルポートの取り合いになりますので正常に動作できなくなります。

2-2. Android 端末とのHID接続

BW-130BT2は、出荷状態でBluetooth SPP Masterモードに設定していますので、Bluetooth HIDモードに変更します。

BW-130BT2をBluetooth 標準HIDモードに設定

- ① 
- ② 
- ③ 

2-2-1. Bluetooth 設定

端末は、初期値でBluetooth OFFの状態です。

- 端末の「設定」⇒「Bluetooth」の「OFF」をスライドして「ON」に変更します。
- 「Bluetooth」をタップして詳細画面（図-4 1）を表示します。



図-3 9

- 図-4 0の画面が表示されますので「OK」を選択します。



図-4 0

BW-130BT2

- d) 「デバイスの検索」(図-4 1) をタップして BW-130BT2 を探します。



図-4 1

2-2-2. ペアリングの開始

- a) Power ボタンを5秒以上長押し(図-4 2)して上下LEDが緑色に点灯します。

※機器より BW-130BT2 を検索します。



図-4 2

- b) BW-130BT2 で PIN コード入力する値(図-4 3)を表示します。 図-4 3では「0」「7」「4」「6」です。

※一部の機器では、パスキーの入力画面が表示されますので「1」「2」「3」「4」などの任意の4ケタの数値を入力してください。 この値を BW-130BT2 で入力します。



図-4 3

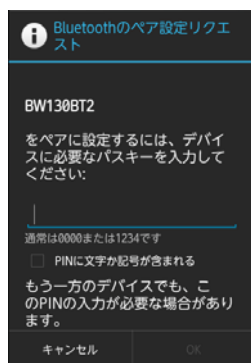


図-4 4

BW-130BT2

c) パスキーの入力

BW-130BT2 でパスキーを下記の設定コードを利用して入力します。

図-30 の場合には、「0」「7」「4」「6」「OK」の順でスキャンします。



d) ペ어링完了

ペ어링確認のブザー音が流れて下側 LED（小さい LED 窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。

以上の操作で BW-130BT2 と Android 端末の HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペ어링を最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続を確認してください。

3. iOS 端末との接続方法

iOS 4.0 以上が接続可能です。

BW-130BT2 は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

BW-130BT2 を Bluetooth iPhone/ iPad HID モードに設定



3-1-1. Bluetooth 設定

端末は、初期値で Bluetooth OFF の状態です。

- a) 端末の「設定」⇒「一般」⇒「Bluetooth」の「オフ」(図-4 5) をスライドして「オン」に変更します。
- b) 自動でデバイスの検索を開始します。
- c) 「BW130BT2」をタップしてペアリングを開始します。



図-4 5

3-1-2. ペアリングの開始

- a) Power ボタンを5秒以上長押し(図-4 6)して上下LEDが緑色に点灯します。

※機器より BW-130BT2 を検索します。



図-4 6

BW-130BT2

b) BW-130BT2 で PIN コードの入力値 (図-47) を表示します。

図-47では「3」「9」「9」「9」です。



図-47

c) パスキーの入力

BW-130BT2 でパスキーを下記の設定コードを利用して入力します。

図-47の場合には、「3」「9」「9」「9」「OK」の順でスキャンします。



d) ペ어링完了

ペ어링確認のブザー音が流れて下側 LED (小さい LED 窓) がゆっくりの緑色点滅に変わります。



図-48

以上の操作で BW-130BT2 と iOS 端末の HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ (BW-130BT2 AIMEX) が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2 は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し (約5秒間) しますと、BW-130BT2 に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続を確認してください。

4. 受信ユニット BTR-UK3 との HID 接続方法

BW-130BT2は、出荷状態でBluetooth SPP Masterモードに設定していますので、Bluetooth BTR-UK3 (HID)モードに変更します。

4-1-1. BTR-UK3 モード設定

- ① 
- ② 
- ③ 

4-1-2. Bluetooth 設定

受信ユニット BTR-UK3 をコンピュータの USB 端子へ挿入します。コンピュータは、BTR-UK3 を USB キーボード (HID) として認識しますのでドライバ等のインストールは必要ありません。

接続先 BTR-UK3 のアドレスを登録

① 設定開始



② ドングルアドレス



③ BW-130BT2 で BTR-UK3 本体に貼られたバーコード (図-49) をスキャンします。

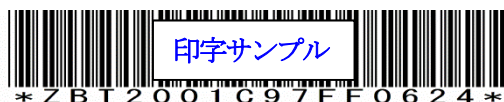


図-49

④ 設定終了



4-1-3. ペアリングの開始

- a) Power ボタンを5秒以上長押し（図-50）して上下LEDが緑色に点灯します。
※BW-130BT2より指定のBTR-UK3を検索します。



図-50

- b) ペアリング完了

BW-130BT2の下側LED（小さいLED窓）がゆっくりの緑色点滅に変わります。

以上の操作でBW-130BT2とBTR-UK3のHID接続は終了いたしました。

※他の機器へ接続する場合には、 dongle アドレスの解除を行う必要があります。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（BW-130BT2 AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



次回からの接続について

BW-130BT2は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

Power ボタンを長押し（約5秒間）しますと、BW-130BT2に保存した接続設定をクリアしますのでご注意ください。万が一、設定がクリアされた場合には、ペアリングを最初から実行してください。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず3の接続を確認してください。

5. 接続先 Bluetooth アドレス解除方法

Bluetooth 通信で限定機器とのペアリングを行う設定「接続先 BT アドレス」または「ドングルアドレス」にて設定した Bluetooth アドレスを解除しませんが別の機器への接続ができません。

解除方法は2通りあります。

5-1. 登録 Bluetooth アドレスのクリア

① 設定開始



② 接続先 BT アドレス



③ 「0」



④ 入力確定



⑤ 設定終了



6. 工場出荷状態

この設定を実行しますと工場出荷状態へ戻りますので、個別設定を最初から行う必要があります。工場出荷状態の通信モードは、Bluetooth SPP モード SPP Master 設定となります。

① 設定開始



② 工場出荷状態 (完全初期化)



※Power Off 状態になります。